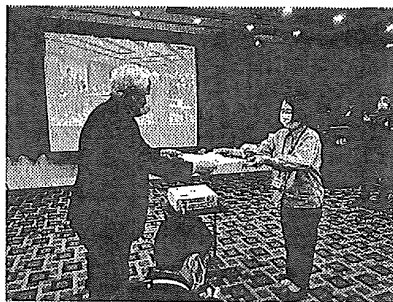


最優秀賞に片野真帆さん

建コン協九州
夢アイデア交流会

建設コンサルタツ協会（建コン協）九州支部（田中清支部長）は4日、「夢アイデア交流会2021」を福岡市博多区のTKPガーデンシティ博多新幹線口で開いた。ウェブ形式も含め約160人が参加。まち

づくりに関するアイデアや夢のプレゼンテーションがあり、最優秀賞に「棚田から地域を元気に」と題し発表した片野真帆さんが選ばれ、表彰された。写真。



開会に当たり田中支部長は「ぜひ自分の夢を語って参加者全員を楽しくしてほしい」と呼び掛けた。

提案発表では夢アイデア提案募集に応募のあった46作品の中から1次審査で選ばれた10作品の提案者がDX（デジタルトランスフォーメーション）やコロナ禍の新しい生活様式、空き家問題、障害者の社会参加、SDGs（持続可能な開発目標）などを踏まえたまちづくり提案のプレゼンテーションを行い、ウェブ投票の結果も参考に審査を行っ

た。

最優秀賞の片野さんは棚田を若者をターゲットとしたアクティビティ空間とし、休耕期を活用したイベントなどを行うことで地域を活性化させることを提案した。片野さんは「アイデアを実現化できたらうれし

い」と受賞の喜びを語った。このほか優秀賞には「子どもが安心・安全そして楽しくあそぶための公園改修プログラム」のミラー輝さん、「『有人の無人駅』を活用した研究と生活の『乗り入れ』」の石垣真名

子さん、「地域活動は若者とタブレットコンシェルジュ」の村下雄三さんが選ばれた。

審査委員らは「いずれも想像力を働かせた具体的な提案だった」「まちづくりは市民が主役であり、いろいろな発想を基に進めることが大事だと改めて思った」などと講評を述べた。日野伸一審査委員長は「一人一人が社会、住みやすいまちづくりへのアイデアを持ち、発想も素晴らしく、プレゼンテーションの度胸が良かった」と総評した。